

2024年度 富山県C級重点 ルールテスト

氏名

点数

問題番号	問題	解答
1	ノーチャージセミサークルのラインは、ノーチャージセミサークルエリアに含まれない。	
2	審判が交代要員をコートに招き入れたときプレイヤーとなるため、タイムアウトまたはプレーのインターバル中は交代要員がタイマー（国内大会ではスコアラール）に交代を申し出たときはまだプレイヤーとはならず交代要員である。	
3	A1はスリーポイントゴールエリアから相手チームのバスケット付近にいるA2に向けてボールをパスした。ボールはパスカットを試みたB2に触れた後、バスケットに入ったため、審判はチームAのキャプテンに2点を認めた。	
4	ゲームクロックが止まり、B1はB6と交代した。チームAにスローインが与えられた後、ゲームクロックが動き始める前に、B6はファウルを宣せられた。これはB6の4個目のファウルであった。再びB6とB1の交代の申し出があり審判は速やかに交代を認め	
5	プレーのインターバルとは、ゲーム開始予定時刻の20分前に始まり（国内大会においては、インターバルの時間は大会主催者の考えにより変更することができる）、各クォーターやオーバータイム終了を知らせるゲームクロックのブザーが鳴ったときに始まる。また、バックボードの外枠が赤く点灯するように備えられているときは、ゲームクロックのブザーよりもその点灯が優先されて始まる。	
6	スリーポイントゴールのために両手でボールを持ったA1はバスケットに向かってドライブをした。B1はA1にファウルし、その勢いでA1はトラベリングのルールで定められている範囲を超えてステップを踏んだ。ボールはバスケットに入ったため審判は得点を認め、A1に1本のフリースローを与えた。	
7	ゲームクロックが動いていて、ボールがライブの状態チームAのゴールが成功したあと、チームBにタイムアウトが認められた。タイムアウトのあと、エンドラインからスローインをするB1は審判からボールを受け取った。B1は同じくエンドラインの外にいるB2にボールをパスした。チームBのバイオレーションである。	
8	全てのゲームにおいて、プログラム上で最初に記載されているチーム（ホームチーム）は、スコアラーズテーブルからコートに向かって、スコアラーズテーブルの左側を自チームのチームベンチとし、ゲーム前のウォームアップを自チームのチームベンチの前のハーフコートで行う。	
9	サイドラインの近くで、両手でボールを持ったA1がB1に近接してガードされヘルドボールとなった。その間にA1の片足がアウトオブバウンズに触れてしまったが、審判はジャンプボールシチュエーションを宣した。	
10	チームAのフロントコートでA1がライブのボールをコントロールしているときに、A2はチームAのフロントコートの制限区域内に2秒間とどまっていた。A2はこのままでは3秒のバイオレーションになってしまうと判断して、エンドラインからアウトオブバウンズに移動して、再び制限区域内に戻った。審判は3秒のバイオレーションとは判断せずにプレーを続行させた。	
11	ショットクロック残り6秒で、A1のショットのボールが空中にある時にA2とB2にダブルファウルが起きた。ボールはリングに触れなかった。オルタネイティングポゼッションアローはチームAを示している。ゲームはショットクロック残り14秒でチームAのスローインで再開される。	
12	A1がショットをし、ボールはリングに触れた後、B1がボールに触れ、そのあと、チームAのバックコートでA3がボールのコントロールを得た。ショットクロックは24秒にリセットされる。	
13	A1はスリーポイントゴールのショットで空中にいるとき、自身のシリンダーの外に脚を広げ、B1との間で触れ合いが起きた。審判はB1のファウルを宣し、3本のフリースローをA1に与えた。	

14	ディフェンスのプレイヤーは両足をコートにつけ相手チームのプレイヤーに正対したとき、リーガルガーディングポジションを占めたとみなされる。	
15	第4クォーター残り48秒、チームA 83 - チームB 80で、スローインをするA1の手からボールが離れたとき、スローインが行われている場所とは別の場所のコート上でB2がA2に触れ合いを起こした。B2はA2に対するスローインファウルを宣せられた。	
16	ゲームクロックが動いている状態で、6人のチームAのプレイヤーがコート上にいた。これは、A1が得点をした後で発見された。チームAのヘッドコーチはテクニカルファウルを宣せられ、スコアシートに「B1」と記入される。A1のゴールは取り消され、ヘッドコーチに指名された1人のプレイヤーはチームベンチに戻される。	
17	ボールに対するプレーとは認められない相手プレイヤーとの触れ合いは、必ずアンスポーツマンライクファウルと判断される。	
18	A1はバックコートから、フロントコートで相手チームのバスケットに向かって進行しているA2にボールをパスした。A2とチームBのバスケットの間にはチームBのプレイヤーはいなかった。A2は空中にジャンプしてボールをキャッチする前に、B1に後ろから触れ合いを起こされた。審判はB1にアンスポーツマンライクファウルを宣した。	
19	すでに5個のファウルを宣せられたプレイヤー（チームメンバー）によるファウルは、プレーをする資格を失ったプレイヤーのファウルとしてヘッドコーチに宣せられ、スコアシートのヘッドコーチ欄には「B」と記入する。	
20	A1に2本のフリースローが与えられた。最後のフリースローが成功してボールがライブになる前に、A2とB2が互いにテクニカルファウルをした。A2とB2にフリースローを1本ずつ与え、ゲームは通常の最後のフリースローの後と同様に再開される。	
21	審判の1人が怪我またはその他の理由で審判を続けられなくなり、その後10分を経過してもその審判が任務を遂行できない場合は、ゲームを再開する。	
22	A1は第4クォーターに2回目のテクニカルファウルを宣せられ、失格・退場となった。スコアシートの欄には「T1」と記入し、そのすぐ隣の枠に「GD」を記入する。	
23	チームAのスローインでショットクロックは残り1秒を表示していた。スローインをするA1の手から離れたボールがチームBのプレイヤーの手に当たった。ゲームクロックは動き始めたが、ショットクロックはその後A2がボールを掴んでから動きだした。	
24	ジャンプボールシチュエーションになったとき、それまでボールをコントロールしていたチームに引き続きスローインが与えられる場合は、ショットクロックは止めるがリセットはしない。ただし、ボールがリングとバックボードの間に挟まったときは、	
25	A1がバスケットに向かってドライブし、ショットの動作（アクトオブシューティング）をしながらボールを手放す前にノーチャージセミサークルエリアに触れているB1を腕を使って押しのけた。審判はノーチャージセミサークルルールは適用せず、A1が不当に腕を使っているためA1のチームコントロールファウルを宣した。	

2024年度 富山県C級重点 ルールテスト

氏名 _____

点数 _____

問題番号	問題	解答	推奨難易度	問題番号
1	ノーチャージセミサークルのラインは、ノーチャージセミサークルエリアに含まれない。	×	C	3
2	審判が交代要員をコートに招き入れたときプレイヤーとなるため、タイムアウトまたはプレーのインターバル中は交代要員がタイマー（国内大会ではスコアラール）に交代を申し出たときはまだプレイヤーとはならず交代要員である。	×	C	6
3	A1はスリーポイントゴールエリアから相手チームのバスケット付近にいるA2に向けてボールをパスした。ボールはパスカットを試みたB2に触れた後、バスケットに入ったため、審判はチームAのキャプテンに2点を認めた。	×	A	22
4	ゲームクロックが止まり、B1はB6と交代した。チームAにスローインが与えられた後、ゲームクロックが動き始める前に、B6はファウルを宣せられた。これはB6の4個目のファウルであった。再びB6とB1の交代の申し出があり審判は速やかに交代を認め	×	A	26
5	プレーのインターバルとは、ゲーム開始予定時刻の20分前に始まり（国内大会においては、インターバルの時間は大会主催者の考えにより変更することができる）、各クォーターやオーバータイム終了を知らせるゲームクロックのブザーが鳴ったときに始まる。また、バックボードの外枠が赤く点灯するように備えられているときは、ゲームクロックのブザーよりもその点灯が優先されて始まる。	○	C	28
6	ツーポイントゴールのために両手でボールを持ったA1はバスケットに向かってドライブをした。B1はA1にファウルし、その勢いでA1はトラベリングのルールで定められている範囲を超えてステップを踏んだ。ボールはバスケットに入ったため審判は得点を認め、A1に1本のフリースローを与えた。	×	C	33
7	ゲームクロックが動いていて、ボールがライブの状態チームAのゴールが成功したあと、チームBにタイムアウトが認められた。タイムアウトのあと、エンドラインからスローインをするB1は審判からボールを受け取った。B1は同じくエンドラインの外にいるB2にボールをパスした。チームBのバイオレーションである。	×	C	34
8	全てのゲームにおいて、プログラム上で最初に記載されているチーム（ホームチーム）は、スコアラーズテーブルからコートに向かって、スコアラーズテーブルの左側を自チームのチームベンチとし、ゲーム前のウォームアップを自チームのチームベンチの前のハーフコートで行う。	○	C	37
9	サイドラインの近くで、両手でボールを持ったA1がB1に近接してガードされヘルドボールとなった。その間にA1の片足がアウトオブバウンズに触れてしまったが、審判はジャンプボールシチュエーションを宣した。	○	C	39
10	チームAのフロントコートでA1がライブのボールをコントロールしているときに、A2はチームAのフロントコートの制限区域内に2秒間とどまっていた。A2はこのままでは3秒のバイオレーションになってしまうと判断して、エンドラインからアウトオブバウンズに移動して、再び制限区域内に戻った。審判は3秒のバイオレーションとは判断せずにプレーを続行させた。	×	B	48
11	ショットクロック残り6秒で、A1のショットのボールが空中にある時にA2とB2にダブルファウルが起きた。ボールはリングに触れなかった。オルタネイティングポゼッションアローはチームAを示している。ゲームはショットクロック残り14秒でチームAのスローインで再開される。	×	B	62
12	A1がショットをし、ボールはリングに触れた後、B1がボールに触れ、そのあと、チームAのバックコートでA3がボールのコントロールを得た。ショットクロックは24秒にリセットされる。	×	C	70
13	A1はスリーポイントゴールのショットで空中にいるとき、自身のシリンダーの外に脚を広げ、B1との間で触れ合いが起きた。審判はB1のファウルを宣し、3本のフリースローをA1に与えた。	×	C	84
14	ディフェンスのプレイヤーは両足をコートにつけ相手チームのプレイヤーに正対したとき、リーガルガーディングポジションを占めたとみなされる。	○	C	85
15	第4クォーター残り48秒、チームA 83 - チームB 80で、スローインをするA1の手からボールが離れたとき、スローインが行われている場所とは別の場所のコート上でB2がA2に触れ合いを起こした。B2はA2に対するスローインファウルを宣せられた。	×	C	97
16	ゲームクロックが動いている状態で、6人のチームAのプレイヤーがコート上にいた。これは、A1が得点をした後で発見された。チームAのヘッドコーチはテクニカルファウルを宣せられ、スコアシートに「B1」と記入される。A1のゴールは取り消され、ヘッドコーチに指名された1人のプレイヤーはチームベンチに戻される。	×	B	108

17	ボールに対するプレーとは認められない相手プレーヤーとの触れ合いは、必ずアンスポーツマンライクファウルと判断される。	×	C	117
18	A1はバックコートから、フロントコートで相手チームのバスケットに向かって進行しているA2にボールをパスした。A2とチームBのバスケットの間にはチームBのプレーヤーはいなかった。A2は空中にジャンプしてボールをキャッチする前に、B1に後ろから触れ合いを起こされた。審判はB1にアンスポーツマンライクファウルを宣した。	○	B	122
19	すでに5個のファウルを宣せられたプレーヤー（チームメンバー）によるファウルは、プレーをする資格を失ったプレーヤーのファウルとしてヘッドコーチに宣せられ、スコアシートのヘッドコーチ欄には「B」と記入する。	○	C	132
20	A1に2本のフリースローが与えられた。最後のフリースローが成功してボールがライブになる前に、A2とB2が互いにテクニカルファウルをした。A2とB2にフリースローを1本ずつ与え、ゲームは通常の最後のフリースローの後と同様に再開される。	×	C	143
21	審判の1人が怪我またはその他の理由で審判を続けられなくなり、その後10分を経過してもその審判が任務を遂行できない場合は、ゲームを再開する。	×	C	157
22	A1は第4クォーターに2回目のテクニカルファウルを宣せられ、失格・退場となった。スコアシートの欄には「T1」と記入し、そのすぐ隣の枠に「GD」を記入する。	○	C	159
23	チームAのスローインでショットクロックは残り1秒を表示していた。スローインをするA1の手から離れたボールがチームBのプレーヤーの手に当たった。ゲームクロックは動き始めたが、ショットクロックはその後A2がボールを掴んでから動きだした。	×	C	163
24	ジャンプボールシチュエーションになったとき、それまでボールをコントロールしていたチームに引き続きスローインが与えられる場合は、ショットクロックは止めるがリセットはしない。ただし、ボールがリングとバックボードの間に挟まったときは、	○	C	165
25	A1がバスケットに向かってドライブし、ショットの動作（アクトオブシューティング）をしながらボールを手放す前にノーチャージセミサークルエリアに触れているB1を腕を使って押しつけた。審判はノーチャージセミサークルルールは適用せず、A1が不当に腕を使っているためA1のチームコントロールファウルを宣した。	○	C	177